

# プログラムシート

タイトル 男女共同参画社会を目指して				
テーマ・目標 日常生活の中で何気なく見過ごしている男女の役割等について考えるを通し、自分自身のジェンダーバイアスに気付き、問題解決に向けた意識をもつ。				
対象者／人数			日程・時間 目安の時間70分	
	時間	ねらい	場面／アクティビティ／問い	場の設定
1	10分	本日の研修の雰囲気づくりをする。	導入：「自己紹介」  ○ファシリテーターのあいさつ ○マイブームについて紹介する。	島型 4～5人
2	25分	身近なところに性別による区別があることを認識し、人権問題に対する意識を高める。	展開①：ディスカッション「これっていいの？」  ○ワークシート①を見て、「あってもよいちがひ」、「あってはならないちがひ」、「どちらとも言えない」のいずれかを選択し、その理由を考える。 ○グループごとに意見を出し合い、話し合う。 ○グループの中で、どんな意見が出たかを全体に発表する。	ワークシート
3	25分	身のまわりに存在する、「性別によって決められていること」等について、事例を出し合い問題があるかどうか話し合う。	展開②：ブレインストーミング「ジェンダーバイアスについて考える」  ○性別によって「決められていること」、「当然だと思われること」について考え、ワークシート②に書く。 ○グループ内で発表し合い、様々な事例について話し合う。 ○グループごとに発表し、全体で共有する。	ワークシート 模造紙 付箋 マーカーペン
4	10分	研修を振り返り、今後の意識、行動の変容につなげる。	まとめ：チェックアウト  ○研修を通して、自身の言動を振り返り、生活にどのように生かしていくかをワークシート③に書く。 ○感想を数名に発表してもらう。 ○ファシリテーターの話。	ワークシート
準備物 ・ワークシート※ ・模造紙 ・付箋 ・マーカーペン				

※ ワークシートについては、人権教育指導資料Ⅱワークショップ(上)[岡山県教育庁人権教育課]P52「ちがいのちがひ」カードも参考にしてください。

1 次の1~10を読んで、あなたはどのように思いますか。1つ選び、その理由も考えてください。

「あってもよいちがい」 → ○      「あってはならないちがい」 → ×  
「どちらとも言えない」 → △

議員の  
数

1. 国会議員は、圧倒的に男性が多く、女性が少ない。

2. 男子トイレの表示は青色、女子トイレの表示は赤色になっていることが多い。

トイレ表示の色

走る  
距離

3. 小学校の持久走大会では、男子が1000m、女子が800mと走る距離が異なる。

4. 結婚式の最後のあいさつは、新郎が夫婦を代表して行う。新婦が親に対して、感謝の手紙を読む。

式典の役割

制服

5. 学校の制服は、男子はズボン、女子はスカートと決められている。

6. 女性の医師に対しては、「女医」と言うが、男性の医師には「男医」とは言わない。

同業種の呼称

名簿

7. A校の学級名簿は男子を先に書き、女子はその後に書く。B校では男女混合の五十音順である。

8. 運動会のかけっこで男子が女子に負けると笑われたが、女子は男子に負けても笑われなかった。

勝敗に対する反応

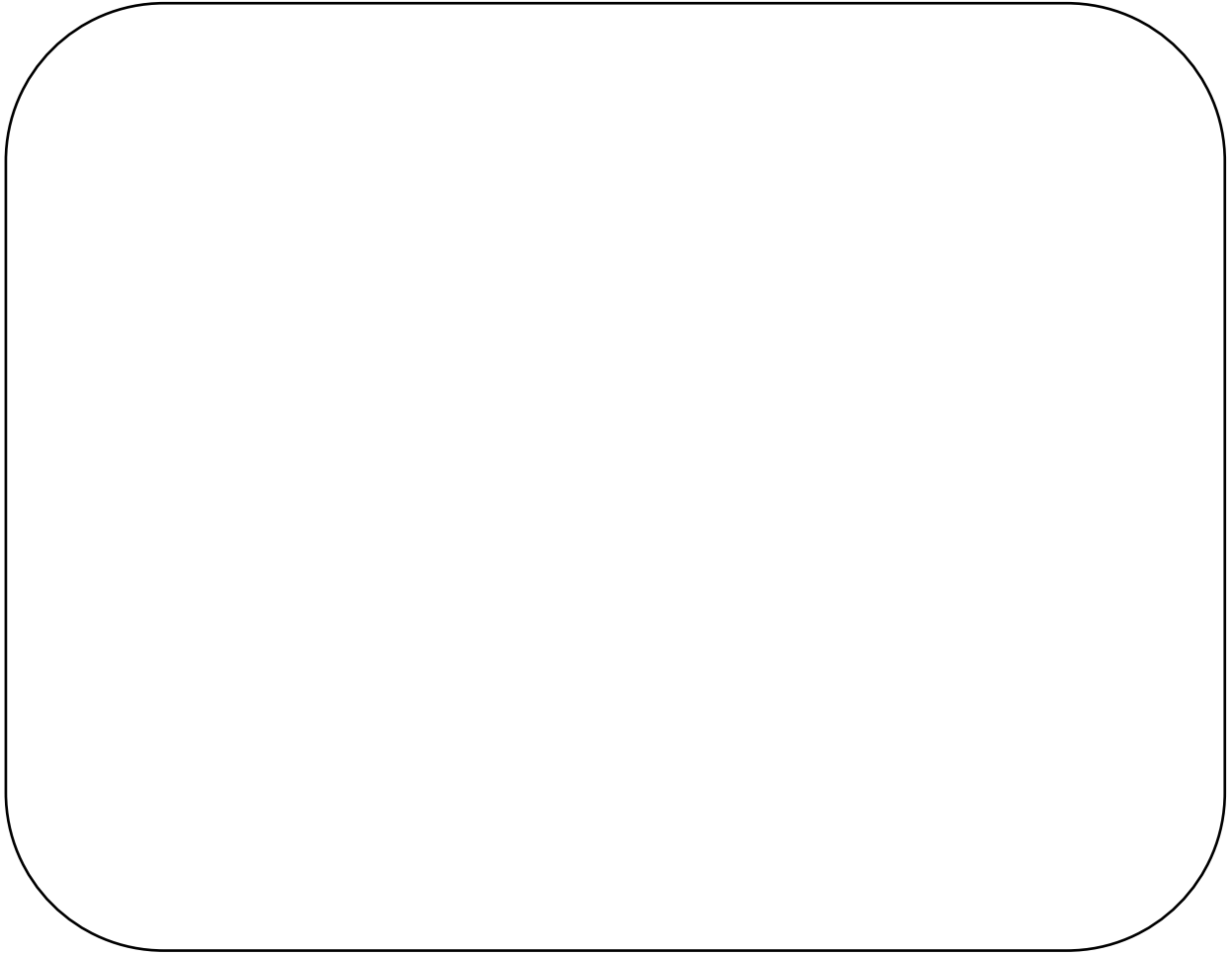
結婚後の  
姓

9. 結婚すると、妻が夫の姓に変わることが多い。夫が妻の姓に変わることが少ない。

10. Cさんの家では必ず父親が最初に風呂に入る。Dさんの家では特に決まっていない。

入浴順

- 2 身のまわりに存在する、性別によって「決められていること」、「当然だと思われていること」がありますか。書き出してください。



- 3 本日の研修を通して、思ったことやこれからの生活に生かしていきたいことなどを書いてください。

